

# カタツムリの外来種 オオクビキレガイをさがしています



植木鉢  
の下

畑

公園

庭

河川敷

学校の  
花だん

マンション  
の植えこみ

## さがしています

みつけたら… 写真をとって、場所をお知らせください。

みわけ方

こども

先端は丸い  
(とがらない)



おとな

最大チェックポイント!  
成長すると  
殻の先端が欠けてなくなる  
(名前の由来)



殻の先端を上にして殻の口を見ると、  
口が右側にくる（右巻き）



◀実物大

成長すると  
殻の長さは  
2~3センチ

情報の送り先・お問い合わせ

大阪市立自然史博物館 動物研究室（担当：石田）

電子メール：sukumiringo@icloud.com（写真を添付し、地名等を書いて送ってください）

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

電話：06-6697-6221 / フax: 06-6697-6225

※写真をお送りいただいた方には、折り返しオオクビキレガイかどうかをお答えします。

※地名の確認など、こちらから追加でお尋ねする場合がありますので、ご協力ください。

- ・ご承諾のない限り、ご報告いただいた方のお名前を公開することはありません。
- ・生息地点の情報は原則としてピンポイントでは公開せず、1km 四方程度のメッシュマップ（または同等の情報解像度）で公開します。ただし、公共用地などの分布情報は公開することができます。

# オオクビキレガイって？

オオクビキレガイは、地中海沿岸原産のカタツムリです。1980年代後半に北九州市に移入し、現在では西日本の複数の府県に定着しています。畠や公園など、比較的開けた環境に生息しています。葉物野菜の新芽を食べる農業被害があるほか、他のカタツムリを食べてしまうこともあります。2010年以降、大阪府でもみつかるようになりました、分布が拡大傾向にあります。大阪市立自然史博物館では、大阪府での分布状況を調べています。分布の拡大過程を知ることで、オオクビキレガイの生態がわかり、今後の対策に役立つ可能性があります。みつけたら、ぜひ情報をお寄せください。



## どんなところにいるの？

オカダンゴムシや、チャコウラナメクジとすむ場所が似ています。庭なら植木鉢やプランターの下、公園なら落ち葉のたまっているところ、石やブロックの下、散水栓ボックスの中などを探してみてください。



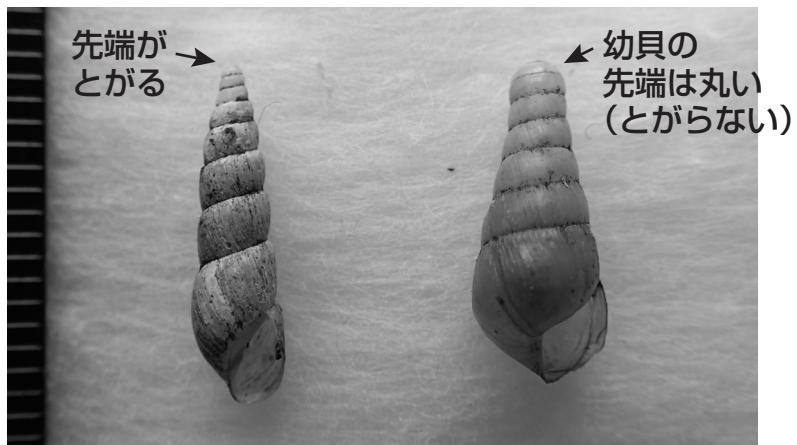
## よく似た他のカタツムリとのみわけ方

### キセルガイのなかま



殻口が  
左側になる

### オカチョウジガイのなかま



トクサオカ  
チョウジガイ

オオクビキレガイ  
(幼貝)

- ・キセルガイ類の殻は「左巻き」。殻の先端を上にした時、殻口が左側になる。  
→左巻きの場合は、オオクビキレガイではありません。

- ・大阪平野で見られるオカチョウジガイ類は、殻の長さが1.5cm未満。
  - ・オカチョウジガイ類の殻の先端はとがっていますが、オオクビキレガイの幼貝の先端は丸くなっています（成長するところは欠け落ちます）。
- 殻の長さ1.5cm未満の場合は、殻の先端をチェック。

## 情報の送り先・お問い合わせ

大阪市立自然史博物館 動物研究室（担当：石田）

電子メール：[sukumiringo@icloud.com](mailto:sukumiringo@icloud.com)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

電話：06-6697-6221 / ファクス：06-6697-6225

大阪府の鉄道駅を中心に、オオクビキレガイを探す市民参加調査「電車に乗ってオオクビキレガイを探そう」も実施中です。今の分布状況など、さらに詳しい情報もこちらから：  
<https://sites.google.com/site/ookubikiregai/>

オオクビキレガイを探そう

